

令和7年度神奈川県障がい者ピアサポート研修 申し込みの際する説明資料

【この研修の目的】

自ら障がいや疾病の経験があり、その経験を活かしながら、他の疾病のある障がい者の支援を行うピアサポーター及びピアサポーターの活用方法等を理解した障害福祉サービス事業所等の管理者等の養成を図ることにより、神奈川県内(含む政令市)の障害福祉サービス等における質の高いピアサポート活動の取組を支援することが目的です。

【研修に関する注意事項】

- ① 申込み＝受講決定ではありません。
この研修は、定員を大きく上回る応募が予想されます。
受講決定のご案内がメールで届いた方のみが受講可能ですので、ご注意ください。
※受講決定後の受講者の変更や、受講日の変更はできません。
- ② 必ず「障がい当事者」と「事業所の専門職」の方がご受講ください。
※1 原則、上記②の者1名ずつ計2名1組での受講申込といたします。
※2 障がい者とは、身体障害、知的障害、精神障害(発達障害含む)、難病等対象者、
高次脳機能障害等、障害領域は問いません。
- ③ 経験年数の定義
申込み時の「経験年数」とは、現在の事業所でピアサポート活動に従事している年数をご記入ください。(申込み年度の4月1日時点での経験年数)
※福祉職員として従事している合計の年数ではありません。

【研修の構成】

- ① 講義(対面研修)
講義部分は事前に参考資料等を確認することで、
当日の講義をより深く理解するようにします。
たくさんの科目がありますが、対面研修までにご覧いただくことで研修効果を高めます。
- ② 演習(対面研修：グループワーク)
講義の理解を深めるためグループワークで
演習を行います。積極的に発言してください。
- ③ アンケート提出(修了証の発行)
研修後のアンケートの提出をもって
修了証を発行します。

障害者ピアサポート研修事業実施 要綱

① 講義(対面研修)
制度や考え方など
専門家から直接学ぶ

② 演習(対面研修)
6名程度のグループで
講義の内容を深める
グループワークや
意見交換を行う

③ アンケート提出
研修後のアンケート提出が
修了証の発行条件

【この研修は3段階の研修です】

研修は、①基礎研修（2日間）、②専門研修（2日間）、③フォローアップ研修（2日間）で構成されています。

【受講対象者は、次のいずれかの人です】

- ①県内に所在する障害福祉サービス事業所、相談支援事業所（以下「障害福祉サービス事業所等」）に雇用等されている障がい者。
なお、雇用等されている障がい者は常勤、非常勤を問わず雇用契約に基づき雇用されている者のほか、今後、雇用が見込まれる者（以下、「ピアサポーター」という）。
- ②上記①の者が所属する事業所管理者、サービス管理責任者等（障がい者含む）、ピアサポーターと協働し支援を行う者（以下「専門職」という）。
- ③障がい者としての経験を活かして、今後、障害福祉サービス事業所等でピアサポーターとして働く意志がある障がい者。
- ④今後、ピアサポーターの雇用を予定している障害福祉サービス事業所等の専門職。

もうしこみまえ さいど かくにん
申込前に再度、ご確認ください!!

- ☐ 申込みには、障がい当事者への説明と同意が十分にできている
- ☐ 研修は講義だけでなく、グループ演習（発表あり）に大きな割合があることを理解した
- ☐ この研修の目的と、受講後に自分がピアサポート活動を行うことを理解した

この研修に出るメリット

- ☐ 自身や法人の方針と国が求めているものとのすり合わせができます
- ☐ ピアサポートの役割、事業所・法人内で自分のやるべきことがわかります
- ☐ 県内の様々な事業所の仲間を得ることができ、法人外で相談できる仲間と出会えます

しゅさい かながわけん よこはまし かわさきし さがみはらし
主催：神奈川県 横浜市 川崎市 相模原市

しゅかん かながわ ふくし しんこうかい
主管：かながわ福祉サービス振興会